

「在宅医療及び介護予防に関する県民意識アンケート」の実施報告

平成29年7月13日（木）から7月31日（月）までの間、「在宅医療及び介護予防に関する県民意識アンケート」を実施いたしました。

結果、1,812名の方からご回答いただきました。アンケートにご協力いただきました方々には御礼申し上げますとともに、その結果について下記のとおりまとめましたので、ご報告いたします。

1 アンケート実施期間

平成29年7月13日（木）から平成29年7月31日（月）まで

2 回答率等

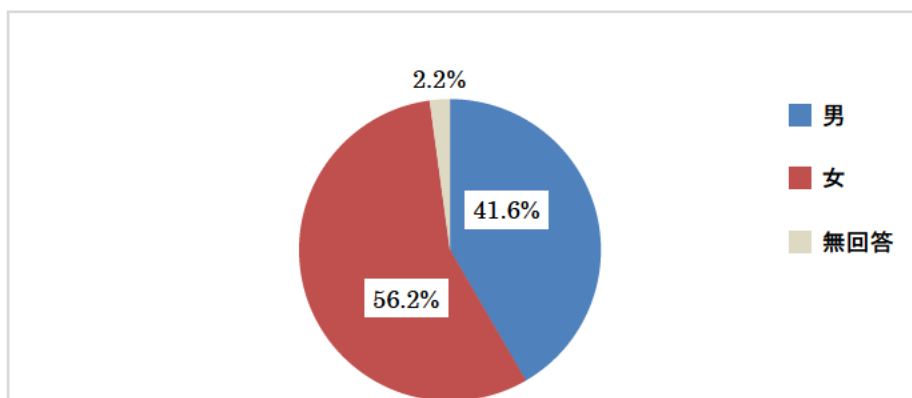
対象者数 3,000名（県内居住の満40歳以上の男女）

回答者 1,812名

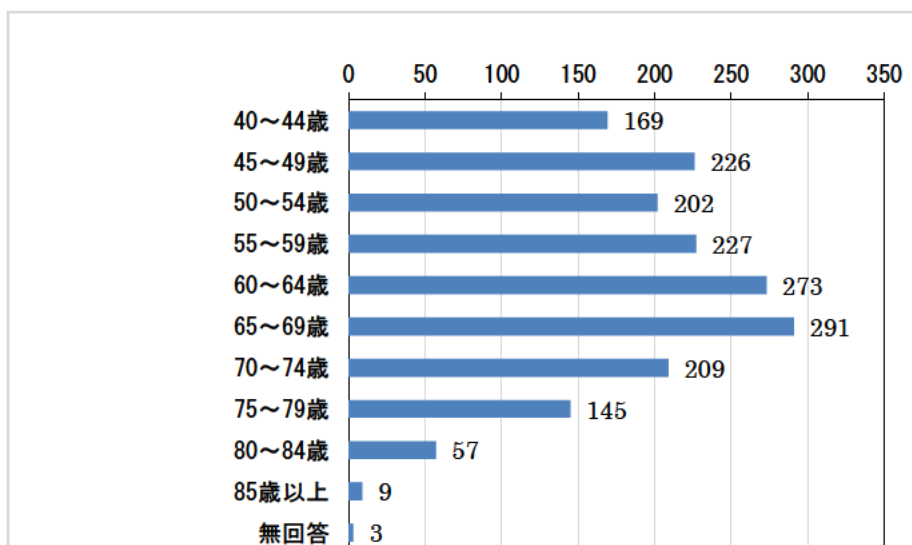
回答率 60.4%

3 属性に関する質問

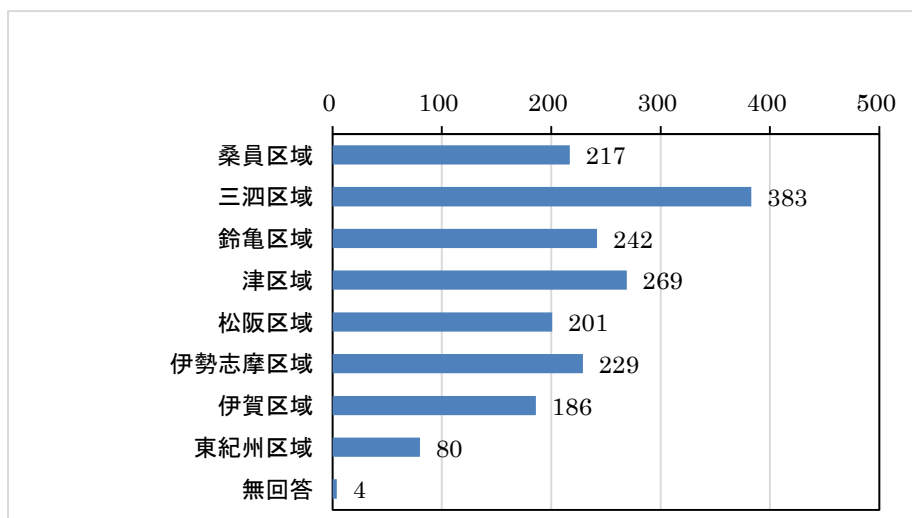
問1. あなたの性別を教えてください。（あてはまる数字1つに○）



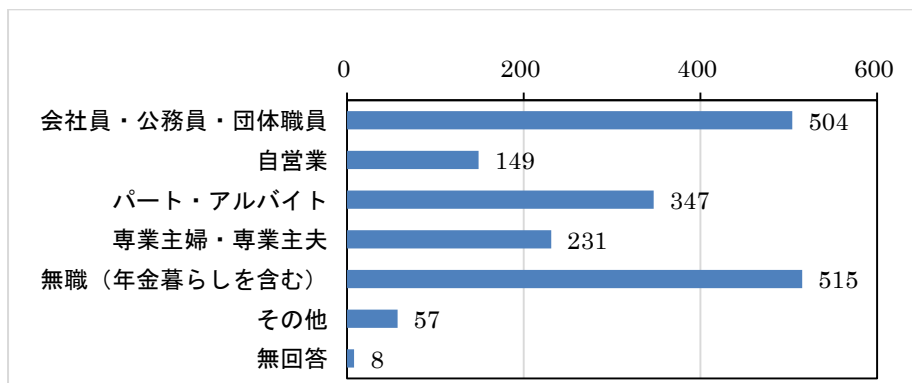
問2. あなたは現在、おいくつですか。



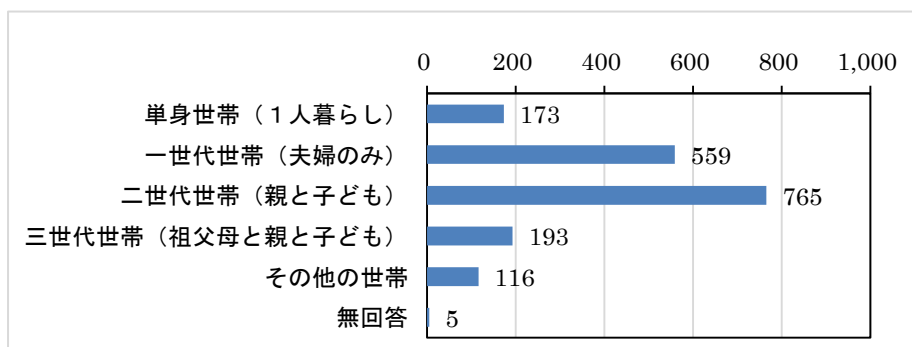
問 3. あなたのお住まいの市町はどちらですか。



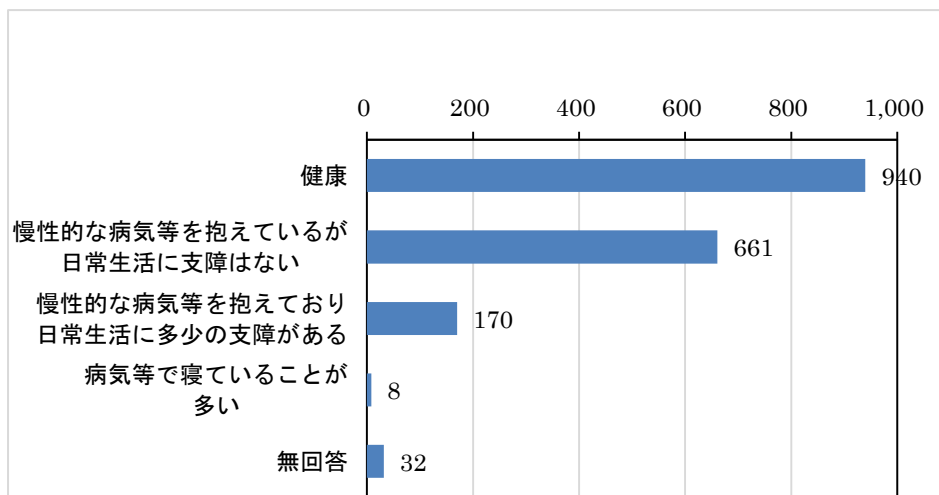
問 4. あなたのご職業は何ですか。



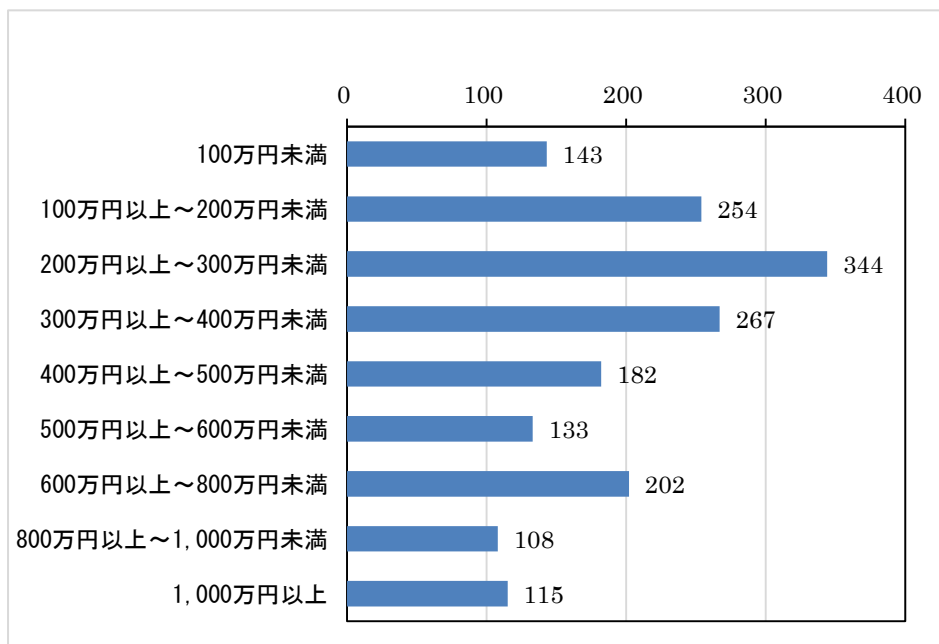
問 5. あなたの世帯構成は、次の中のどれにあたりますか。



問 6. あなたの現在の健康状態を教えてください。

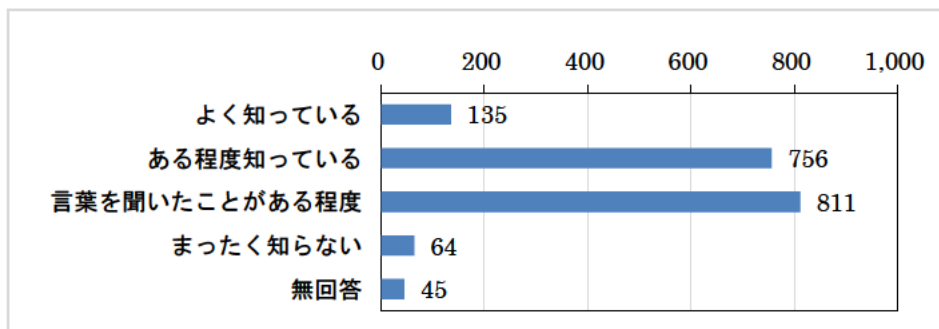


問 7. あなたの世帯の経済状況（税込年収）を教えてください。



4 在宅医療に関する質問

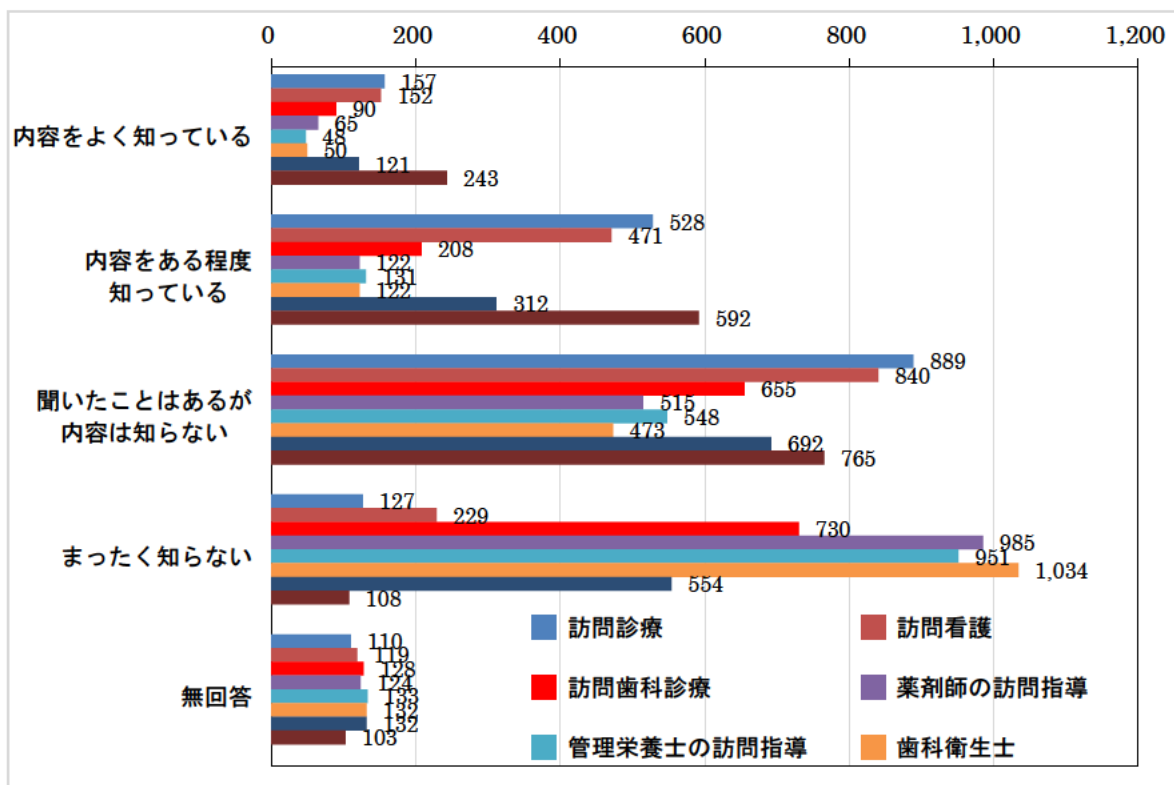
問 8. 「在宅医療」について知っていますか。



「在宅医療」についての認知度をお聞きしたところ、「知っている」と答えた方は 891 名 (49.2%) (「よく知っている」135 名 (7.5%) + 「ある程度知っている」756 名 (41.7%))、「知らない」と答えた方は 875 名 (48.3%) (「言葉を聞いたことがある程度」811 名 (44.8%) + 「全く知らない」64 名 (3.5%)) となっています。

年齢別に見ると、年齢が高くなるほど「在宅医療」についての認知度も高くなっています。

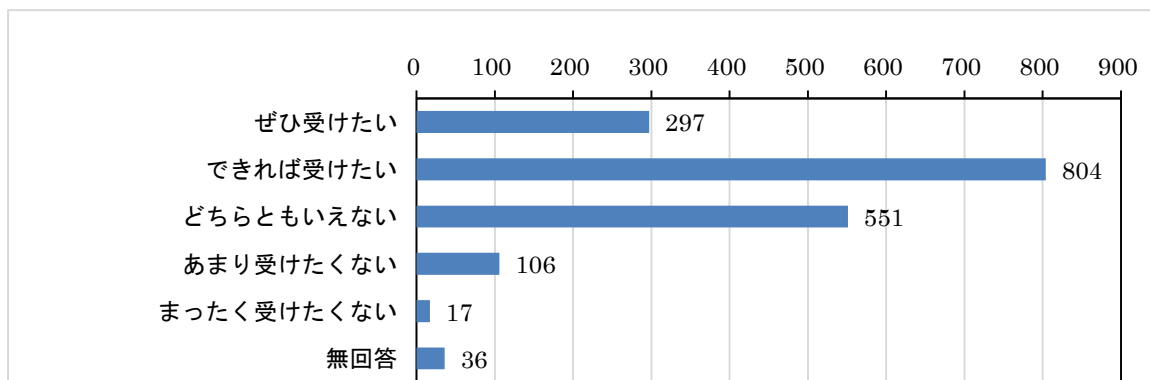
問 9. 「在宅医療」は通院が出来なくなった場合などに、医師や看護師などの訪問を受けながら自宅や施設で治療・療養する医療のことです。あなたは「在宅医療」を支える仕組みの中で、下記のようなサービスがあることを知っていますか。



「在宅医療」を支える各サービスの認知度を確認したところ、「知っている」(「内容をよく知っている」+「内容をある程度知っている」と答えた方が一番多かったサービスは「訪問看護(看護師の訪問)」(1,376 名 (49.6%))であり、以下、「訪問介護(ヘルパーの訪問)」(835 名 (46.1%))、

「訪問診療（往診）（医師の訪問）」（685名（37.9%））の順となっています。

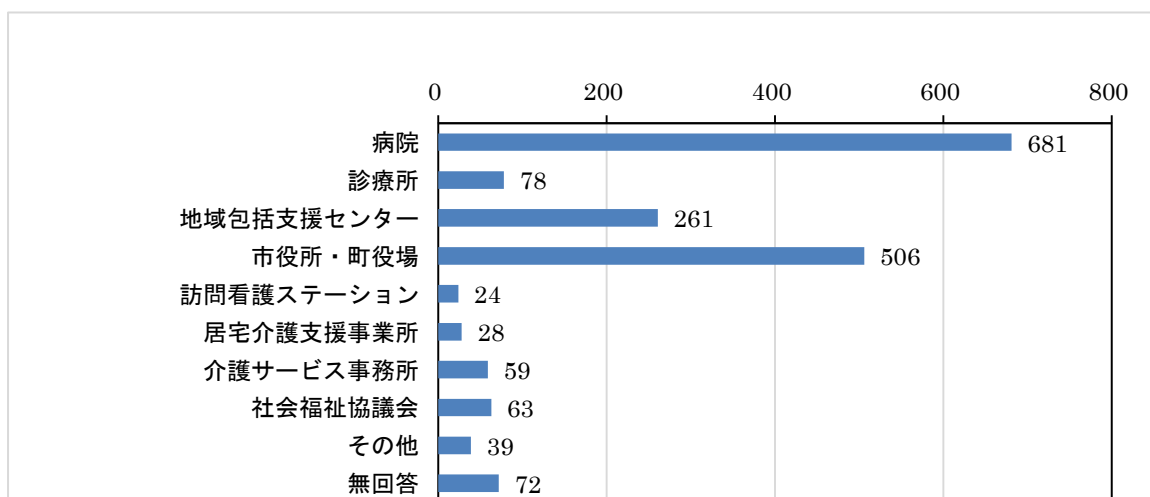
問 10. あなたが病気等で通院ができなくなった場合に、「在宅医療」や「在宅介護」を受けてみたいと思いますか。現在、「在宅医療」や「在宅介護」を受けられている方は受ける前はどのように思っていましたか。



病気等で通院ができなくなった場合に、「在宅医療」や「在宅介護」を受けてみたいと思うかお聞きしたところ、「ぜひ受けたい」と答えた方が297名（16.4%）、「できれば受けたい」と答えた方が804名（44.4%）、「どちらともいえない」と答えた方が551名（30.4%）、「あまり受けたくない」と答えた方が106名（5.9%）、「まったく受けたくない」と答えた方が17名（0.9%）となっています。

地域別に見ると、「あまり受けたくない」・「まったく受けたくない」の比率が東紀州で高くなっています。

問 11. あなたが「在宅医療」を受けることになった場合、まずどこに相談しようと思いますか。現在、「在宅医療」を受けられている方は、まずどこに相談しましたか。



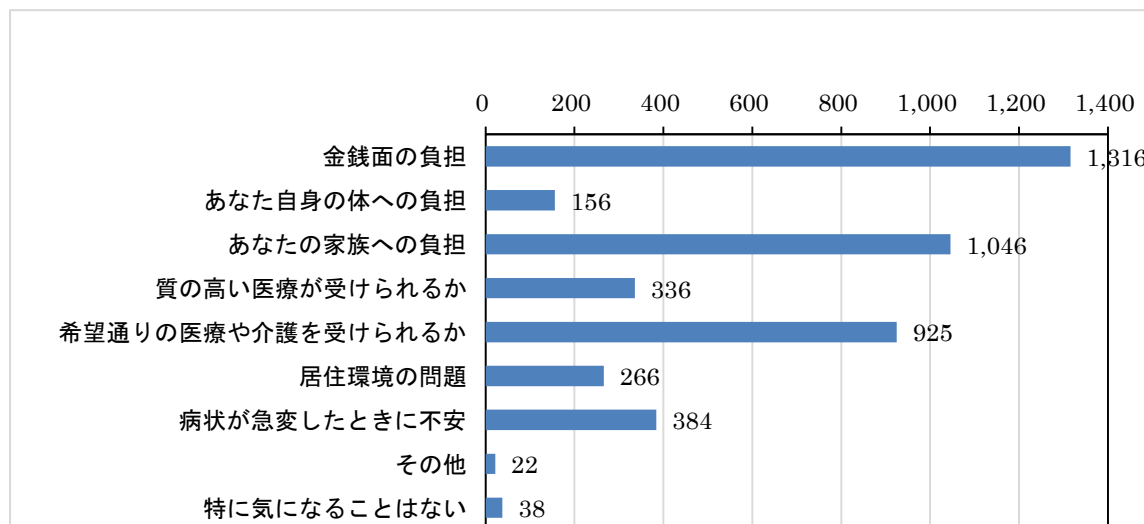
あなたが「在宅医療」を受けることになった場合、まずどこに相談しようと思うか、また現在、「在宅医療」を受けられている方は、まずどこに相談したかお聞きしたところ、「病院」と答えた方（681名（37.6%））が一番多く、以下「市役所・町役場」（506名（27.9%））、「地域包括支援センター」（261名（14.4%））の順となっています。

「病院」は、年齢の低い方や年収の多い方ほど、選択率が高い傾向がみられます。

「市役所・町役場」は、年収の少ない方ほど、選択率が高い傾向がみられます。

「地域包括支援センター」は、年齢が高い方ほど、選択率が高い傾向がみられます。

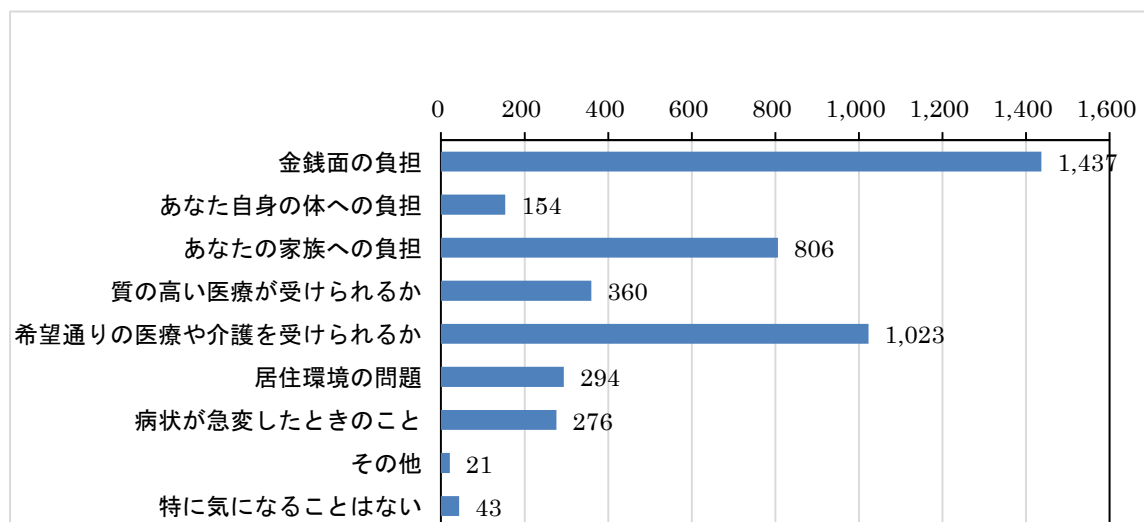
問 12. あなたが自宅で、「在宅医療」を受けることになった（もしくは現在、受けている）場合、気になることは何ですか。



自宅で「在宅医療」を受けることになった（もしくは現在、受けている）場合、気になることについてお聞きしたところ、「金銭面の負担」と答えた方（1,316名（73.6%））が最も多く、以下「あなたの家族への負担」（1,046名（58.5%））、「希望通りの医療や介護を受けられるか」（925名（51.8%））の順となっています。（複数回答）

「金銭面の負担」は、年齢が低い方や年収が低い方ほど、選択率が高い傾向がみられます。

問 13. あなたが老人ホーム等の施設において、「在宅医療」を受けることになった（もしくは現在、受けている）場合、気になることは何ですか。



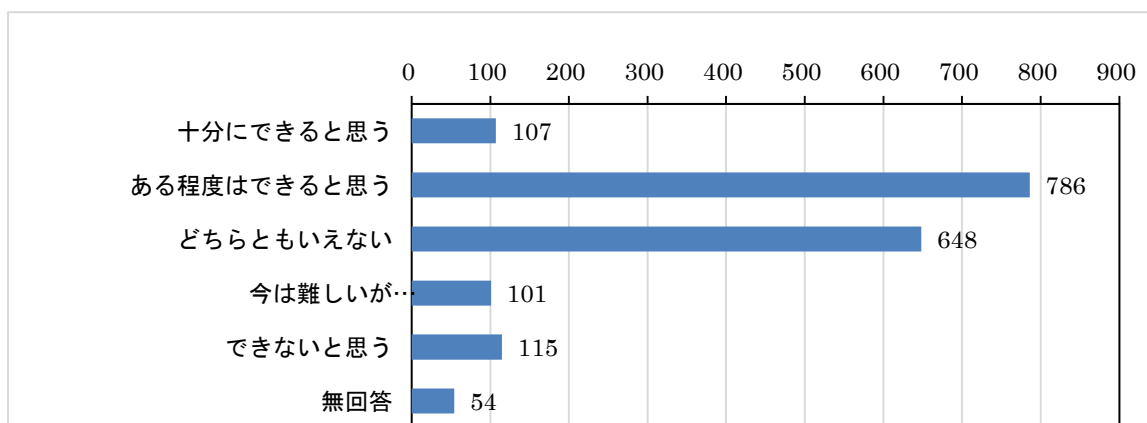
老人ホーム等の施設で「在宅医療」を受けることになった（もしくは現在、受けている）場合、気になることについてお聞きしたところ、問 12 と同様に「金銭面の負担」と答えた方（1,437名（80.5%））が最も多く、以下「希望通りの医療や介護を受けられるか」（1,023名（57.3%））、「あなた

の家族への負担」(806名(45.2%))の順となっています。(複数回答)

「金銭面の負担」は、年齢が低い方や年収が低い方ほど、選択率が高い傾向がみられます。

「希望通りの医療や介護を受けられるか」は、年収が多い方ほど、選択率が高い傾向がみられません。

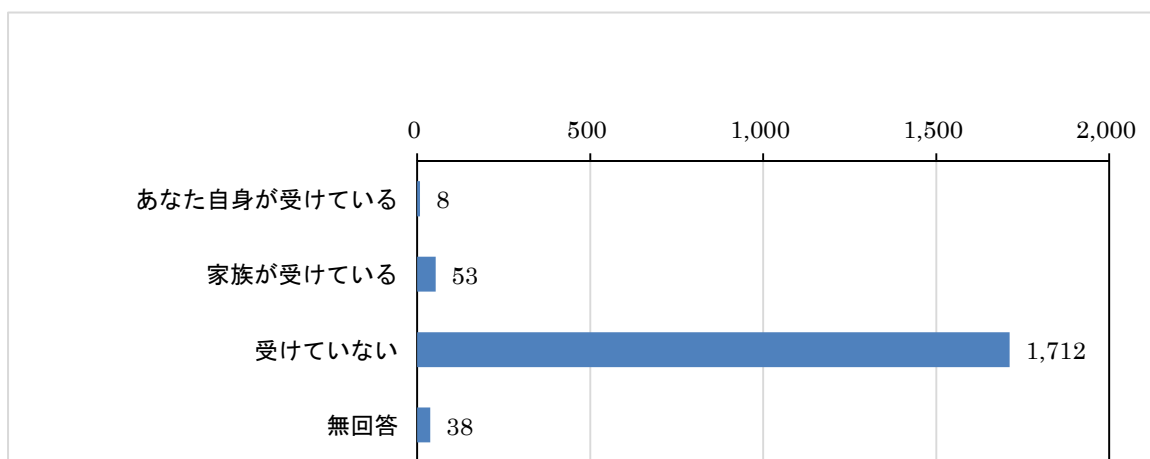
問 14. あなたがお住まいの地域では、「在宅医療」を受けることができますか。現在、「在宅医療」を受けられている方は、受けることができましたか。



お住まいの地域で、「在宅医療」を受けることができると思うかお聞きしたところ、「十分にできると思う」と答えた方が107名(5.9%)、「ある程度はできると思う」と答えた方が786名(43.4%)、「どちらともいえない」と答えた方が648名(35.8%)、「今は難しいが将来的にはできると思う」と答えた方が101名(5.6%)、「できないと思う」と答えた方が115名(6.4%)でした。

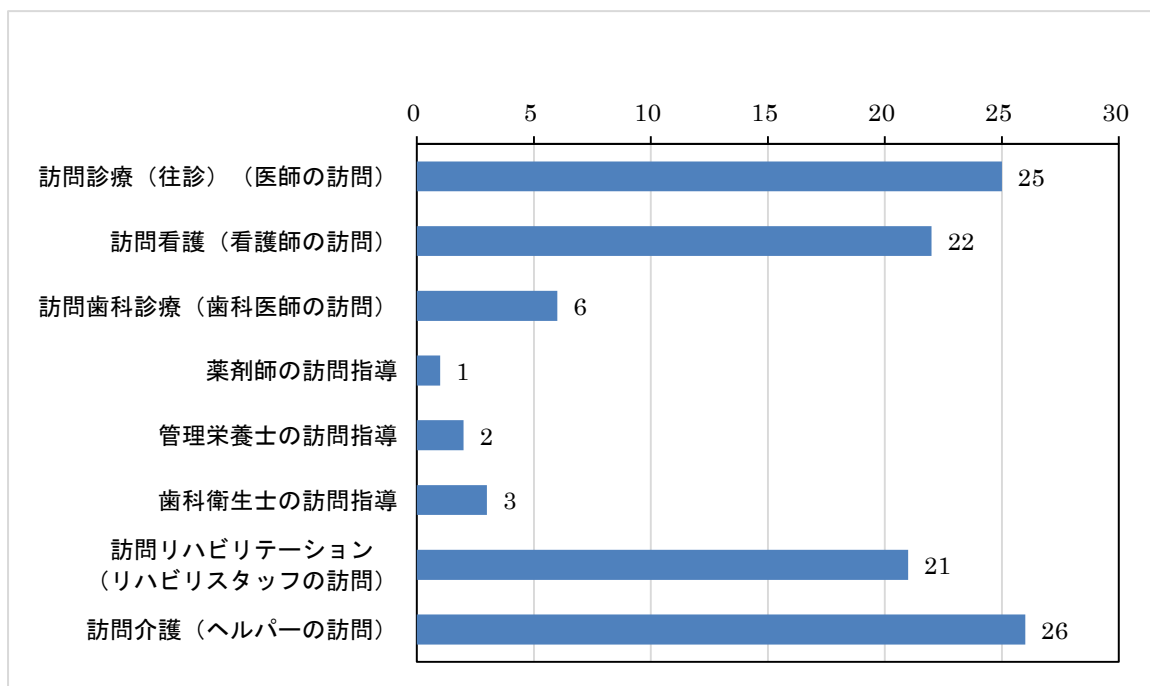
地域別に見ると東紀州・伊勢地域では「できないと思う」と答えた方が多い傾向がみられ、一方、三河地域では「できないと思う」と答えた方が少ない傾向がみられます。

問 15. あなたやあなたの家族は、現在、「在宅医療」を受けていますか。



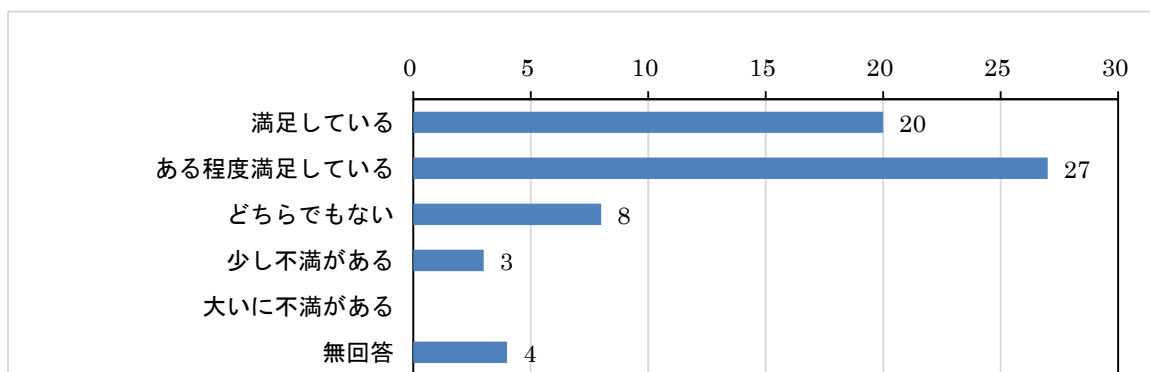
あなたやあなたの家族が、現在、「在宅医療」を受けているかお聞きしたところ、「あなた自身が受けている」と答えた方は8名(0.4%)、「家族が受けている」と答えた方は53名(2.9%)、「受けていない」と答えた方は1,712名(94.5%)でした。

問 16. 「在宅医療」を受けている方におうかがいします（家族が受けている場合も含む）。あなたは下記のようなサービスの中でどのサービスを受けていますか。



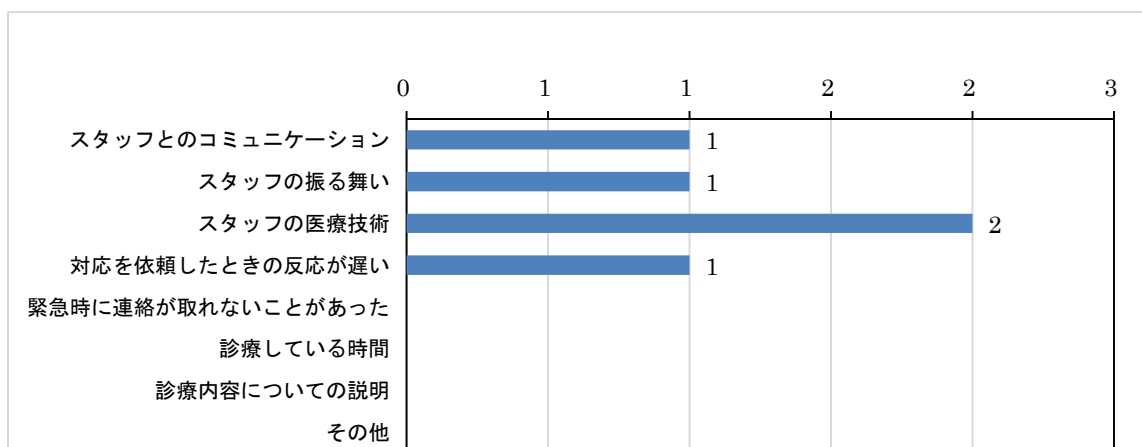
自身や家族が「在宅医療」を受けている方に対して、どのようなサービスを受けているかお聞きしたところ、「訪問介護（ヘルパーの訪問）」と答えた方（26名（42.6%））が最も多く、以下「訪問診療（往診）（医師の訪問）」（25名（41.0%））、「訪問看護（看護師の訪問）」（22名（36.1%））、「訪問リハビリテーション（リハビリスタッフの訪問）」（21名（34.4%））の順となっています。（複数回答）

問 17. 現在受けている「在宅医療」に満足していますか。不満がある場合は、その内容について教えてください。



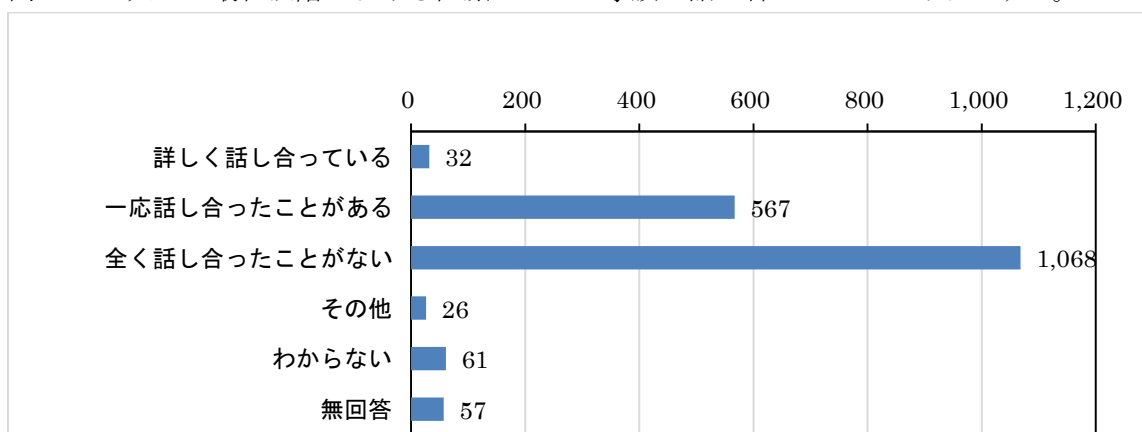
自身または家族が「在宅医療」を受けている方に、現在受けている「在宅医療」に満足しているかお聞きしたところ、「満足している」（「満足している」＋「ある程度満足している」）方は47名（75.8%）でした。また、「不満がある」（「少し不満がある」＋「大いに不満がある」）方は3名（4.8%）でした。

問 18. 現在受けている「在宅医療」に不満があるのは、こういったところか教えてください。



自身または家族が「在宅医療」を受けており、現在受けている「在宅医療」に不満がある方にこういったところに不満があるかお聞きしたところ、「スタッフの医療技術」と回答した方が2名、「スタッフとのコミュニケーション」、「スタッフの振る舞い」、「対応を依頼した時の反応が遅い」と回答した方が1名ずつでした。(複数回答)

問 19. 人生の最終段階における医療について家族と話し合ったことがありますか。

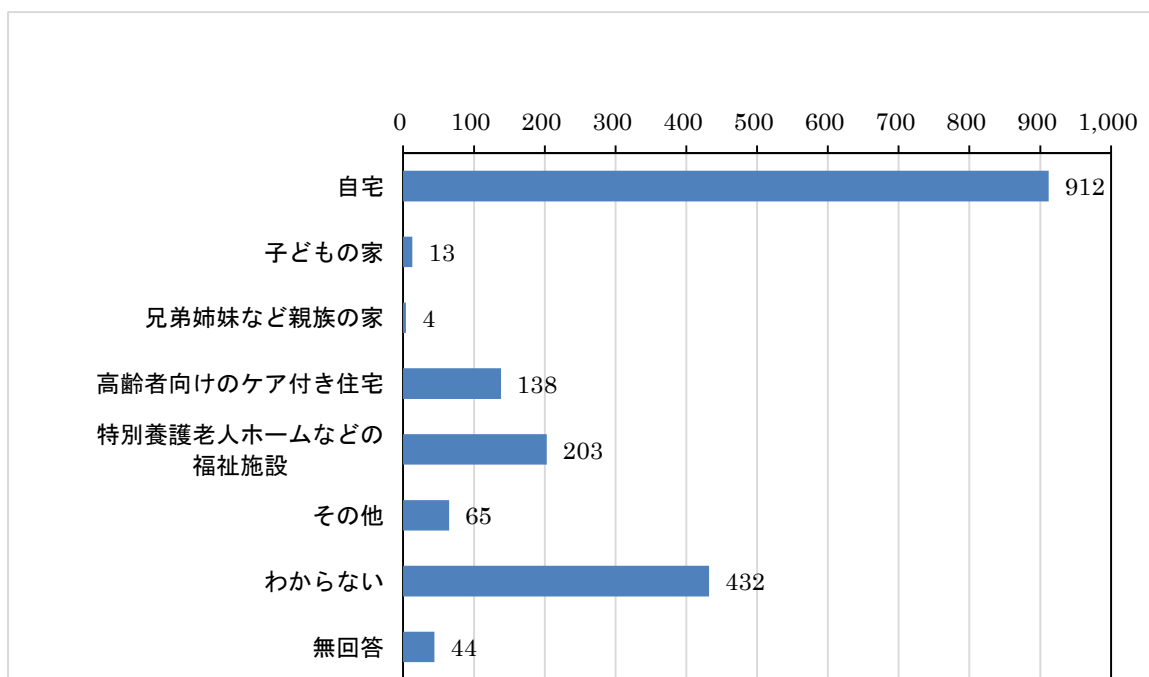


人生の最終段階における医療について家族と話し合ったことがあるかお聞きしたところ、「詳しく話し合っている」と答えた方は32名(1.8%)、「一応話し合ったことがある」と答えた方は567名(31.3%)、「全く話し合ったことはない」と答えた方は1,068名(59.0%)でした。

年齢別に見ると、年齢が高くなるほど、家族との話し合いが増える傾向がみられます。

また、厚生労働省が「人生の最終段階における医療に関する意識調査(平成25年3月)」という全国規模の調査において本問と同じ設問で調査をおこなっており、その回答は「詳しく話し合っている」と答えた方の割合は2.8%、「一応話し合ったことがある」と答えた方の割合は39.4%、「全く話し合ったことがない」と答えた方の割合は55.9%でした。

問 20. 病気などで人生の最期を迎えることになった場合、どこで過ごしたいと思いますか。



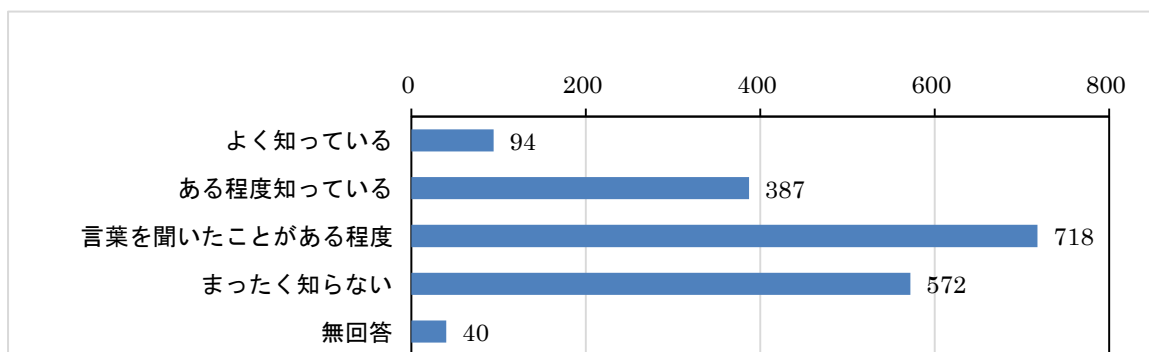
病気などで人生の最期を迎えることになった場合、どこで過ごしたいと思うかお聞きしたところ、「自宅」と答えた方（912名（50.4%））が最も多く、以下、「わからない」（432名（23.9%））、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」（203名（11.2%））、「高齢者向けのケア付き住宅」（138名（7.6%））となっています。

年齢別に見ると、年齢が高いほど「自宅」の選択率が高くなる傾向がみられます。

また、収入別に見ると、年収が高い人ほど「高齢者向けのケア付き住宅」の選択率が高くなる傾向がみられます。

4 介護予防に関する質問

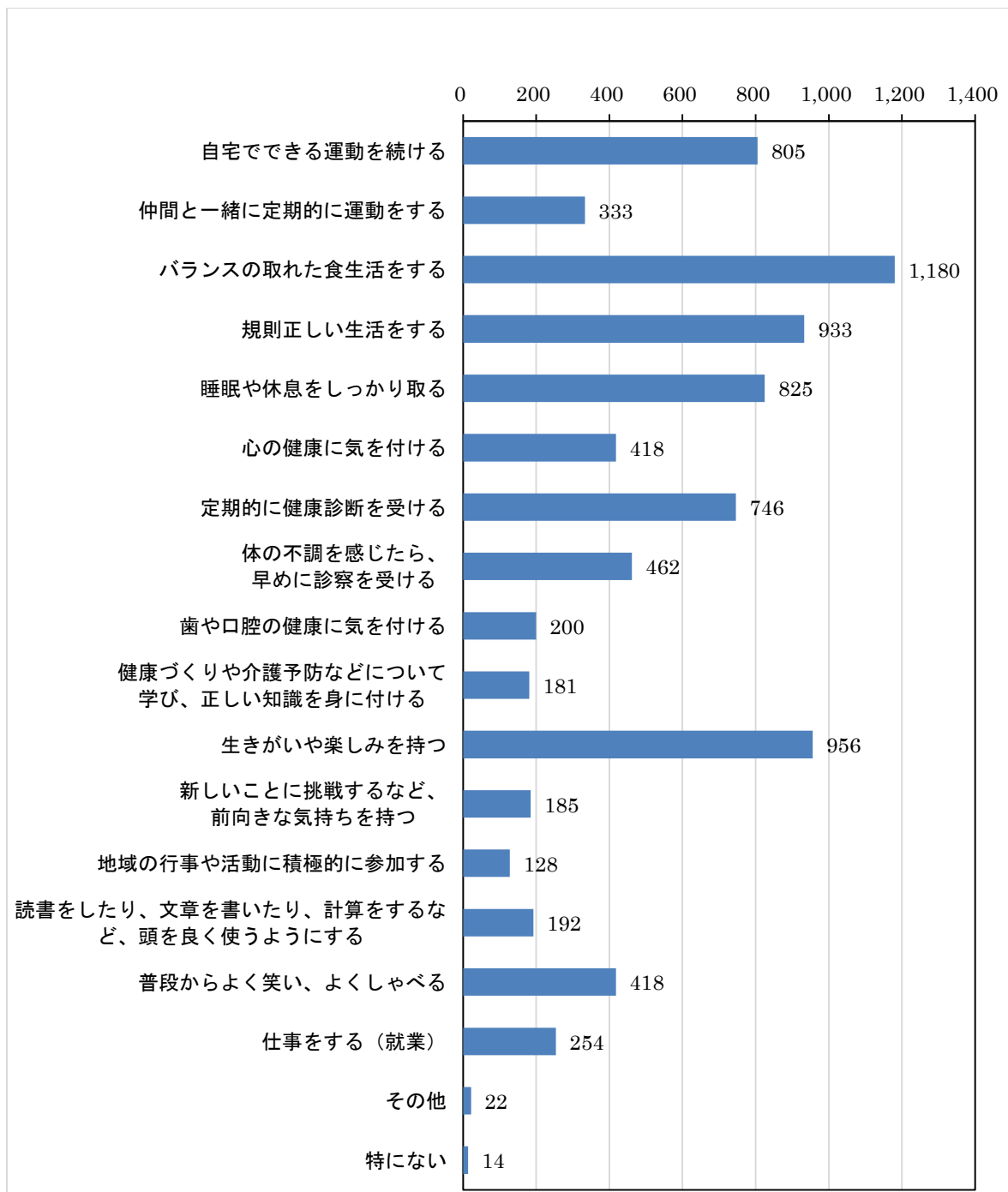
問 21. あなたは「介護予防」について知っていますか。



「介護予防」についての認知度をお聞きしたところ、「知っている」と答えた方は481名（26.6%）（「よく知っている」94名（5.2%）+「ある程度知っている」387名（21.4%））、「知らない」と答えた方は1,290名（71.2%）（「言葉を聞いたことがある程度」718名（39.6%）+「全く知らない」572名（31.6%））となっています。

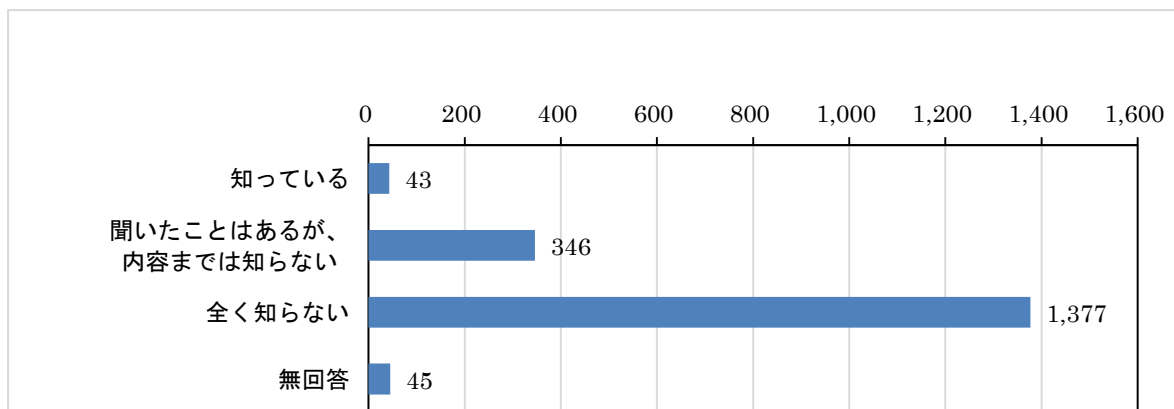
年齢別に見ると、年齢が高くなるほど、「介護予防」についての認知度も高くなっています。

問 22. 健康づくりや「介護予防」のために、あなたが効果的だと思うことはどんなことですか。



健康づくりや「介護予防」のために、効果的だと思うことについてお聞きしたところ、「バランスの取れた食生活をする」と答えた方（1,180名（67.3%））が最も多く、以下「生きがいや楽しみを持つ」（956名（54.5%））、「規則正しい生活をする」（933名（53.3%））、「睡眠や休息をしっかりと取る」（825名（47.0%））の順となっています。（複数回答）

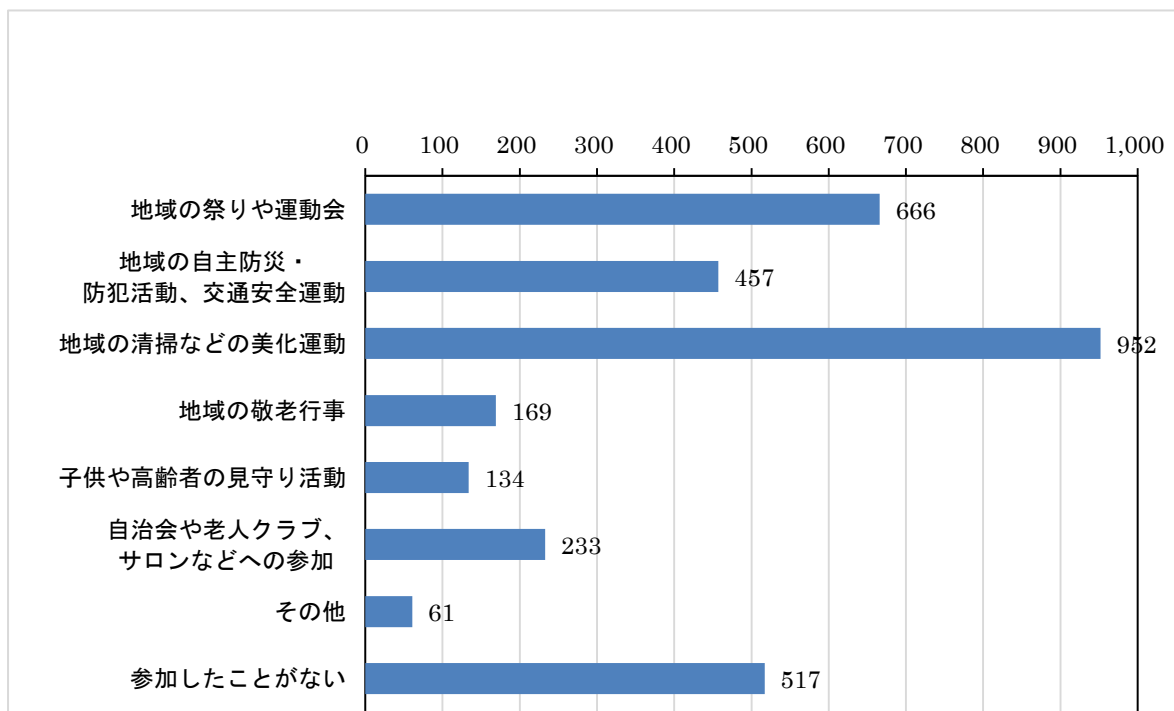
問 23. 「介護予防」や身体機能の維持・向上にはリハビリテーションの専門職によるアドバイスを受けることも効果的です。三重県内のリハビリテーション施設やサービスの情報を提供したり、県民へのリハビリテーションの普及啓発を行う機関である「三重県リハビリテーション情報センター」を知っていますか。



「三重県リハビリテーション情報センター」の認知度をお聞きしたところ、「知っている」と答えた方は43名(2.4%)、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」と答えた方は346名(19.1%)、「全く知らない」と答えた方は1,377名(76.0%)となっています。

年齢別に見ると、年齢が高くなるほど、「三重県リハビリテーション情報センター」についての認知度は高くなっています。

問 24. 地域で行われる行事や活動等への参加について、直近の3年間であなたが参加したことがある行事等にはどのようなものがありますか。

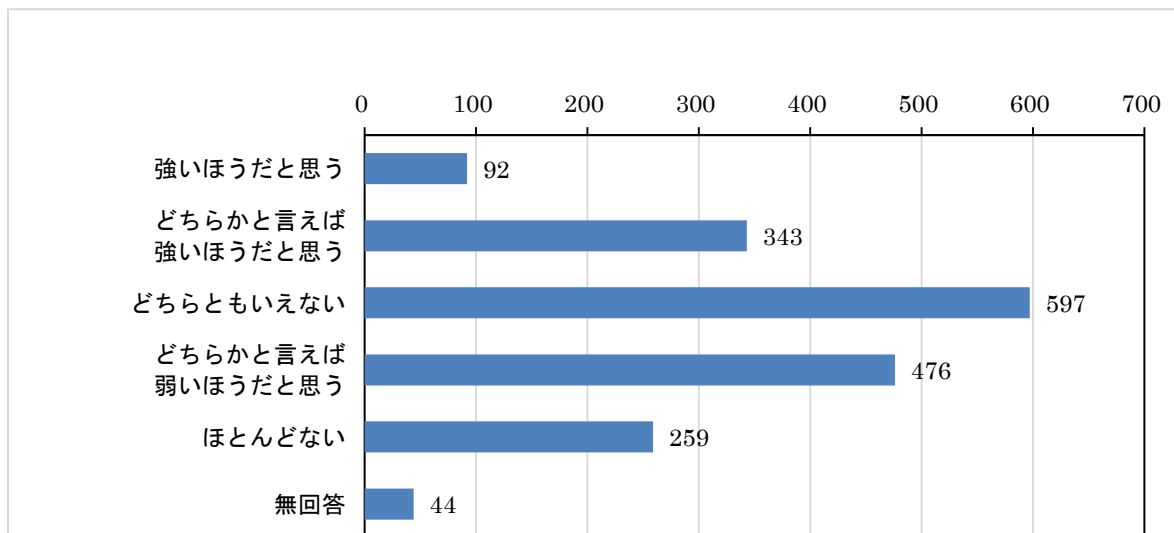


地域で行われる行事や活動等への参加についてお聞きしたところ、「地域の清掃などの美化運動」と答えた方(952名(54.0%))が最も多く、以下「地域の祭りや運動会」(666名(37.8%))、「地域

の自主防災・防犯活動、交通安全運動」(457名(25.9%))、「自治会や老人クラブ、サロンなどへの参加」(233名(13.2%))の順となっています。(複数回答)

年齢別に見ると、年齢が低くなるほど、「参加したことがない」の選択率が高い傾向がみられます。

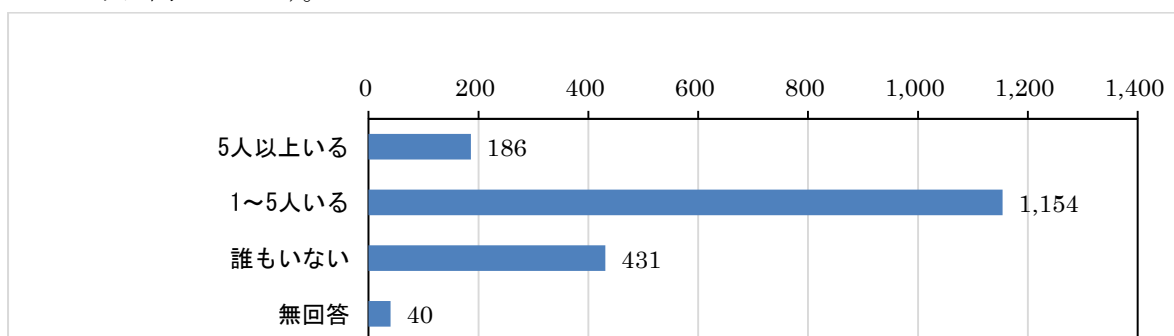
問 25. あなたにとって、自身と地域の人とのつながりはどの程度だと感じていますか。



自身と地域の人とのつながりはどの程度だと感じているかお聞きしたところ、「強い」と答えた方は435名(24.0%)（「強い方だと思う」92名(5.1%)+「どちらかと言えば強いほうだと思う」343名(18.9%)）、「弱い」と答えた方は735名(40.6%)（「どちらかと言えば弱いほうだと思う」476名(26.3%)+「ほとんどない」259名(14.3%)）、「どちらともいえない」と答えた方は597名(33.0%)となっています。

年齢別に見ると、年齢が高くなるほど地域とのつながりが強くなる傾向がみられます。

問 26. あなたは、困ったときに頼ったり、助け合ったりできる「ご近所さん」はいますか(困りごとの大小は問いません)。



困ったときに頼ったり、助け合ったりできる「ご近所さん」についてお聞きしたところ、「5人以上いる」と答えた方は186名(10.3%)、「1~5人いる」と答えた方は1,154名(63.7%)、「誰もいない」と答えた方は431名(23.8%)となっています。